

令和6年度 第3回 三方原中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年2月18日（火） 15時00分から16時30分まで
- 2 開催場所 三方原中学校 被服室
- 3 出席委員 鈴木 登志郎、木下 直樹、岡本 秀人、中村 雅俊、細川 銀河
- 4 欠席委員 中川 秀三、佐藤 京子、杉山 利奈
- 5 オブザーバー 澤木 克彦（三方原協働センター所長）
- 6 学 校 佐藤 安彦（校長）、岡田 政之（教頭）、内山 靖行（主幹教諭）
山岡 文彦（生徒指導主事）、大津 幸三郎（CS担当）、
外山 直世（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録制作者 CSディレクター 外山 直世、CS担当 大津 幸三郎
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、鈴木委員から木下委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 令和6年度 学校関係者評価について
- (2) 学校運営協議会の自己評価について
- (3) 令和7年度学校運営の基本方針の説明と承認（校長）

11 会議記録

司会の岡田教頭から、委員総数8人のうち5人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 令和6年度 学校関係評価について

- ・学校評価アンケート（生徒・保護者）結果について、成果・課題・改善策等について説明がされた。（主幹教諭）
- ・「勉強がわからないときには、先生に聞くことができますか」の設問に対し、5%よくなっているとのこと5%というと少ないかなと思ったが、人数にしたら40人、1クラス以上の人数だなどと思うととても多い結果が出て、すごいと思う。（木下委員）
- ・先生方の日々の成果だと思う。良い方向に行っているなど感じる。挨拶について、三方原中は挨拶ができると感じる。うるさくない程度ににこにこして挨拶ができる子が増えるといいと思う。（中村委員）
- ・全体的によくなっていると思う。個別に数字を見ると、学年が上がって成長してよくなっている。挨拶については、私的にはあまりしつこくされたくない(笑)。男子生徒が4、5人で大声であいさつされるといいことだが、びっくりしてしまう。自然な挨拶ができるといいと思う。（鈴木委員）
- ・挨拶は時と場が大事、会釈だけでも良いと思う。（岡本委員）
- ・職員からも挨拶して返ってきての積み重ね、教員は身近な大人、大人の代表として見せて

いかないといけない。(教頭)

- ・三方原中は元気に挨拶ができると思う。ここ最近は子供が遠慮しているように感じるから、こちら(大人)から挨拶するようにしている。遠慮して元気がなくなっているように感じるのは寂しいが、子供は大人を見ていると思うので、こちらから挨拶をしてもう少し元気良くなるといいと思う。(細川委員)
- ・元気がないのはコロナ時代から変わったのか、話しかけてはいけないとかあったので、元気がないのか。(木下委員)
- ・こちらから声をかければ、元気良く挨拶ができると思う。(岡本委員)
- ・学校いじめ防止基本方針に基づく取り組み状況・課題等について報告がされた。(生徒指導主事)
- ・被害者がいじめといたらいじめである。被害者本人がいじめといたら認知するようにしている。(生徒指導主事)
- ・デリケートだなと思う。(木下委員)
- ・学校があれているわけではない。(生徒指導主事)
- ・軽いいじめを認知するから重大なこと、テレビに出るようなことにはならないと思う。(木下委員)
- ・中学校ではそれをいじめと認識して高校に行く。そこで高校での取り扱いはどうか。社会に出るとそんなことは自分で何とかしろと言われる。免疫がつかない状態で社会に出るのは辛いのかと考える。(鈴木委員)
- ・学校では相談できる、その安心感の中で成長させる。守り守られの中で安心して生活をして成長させる。(教頭)
- ・バランスだと思う。本当に過保護はだめだと思う。アラートを出すのはいいことだ。あれていた中学校、今はとても安心な学校でいいと思う。(中村委員)
- ・今どきの子供は、自分で考える力が弱いと思う。周りが教えてしまうからか。考える力がないからわからない、できないとすぐに言うように感じる。自宅では、「自分で考えて」とよく言うようにしている。(細川委員)
- ・同感である。例えば、災害の時、自分でどうするか考える必要がある。(岡本委員)
- ・その辺は、学校としてやらないといけないことだと思っている。(教頭)
- ・指示待ちの子が多い。どっちがいいの、と選ばせるようにしている。どうしたらいじめにならないのか、自分で考えるようにするのも大事だ。(岡本委員)

(2) 学校運営協議会の自己評価

- ・様々な議題について、活発で、建設的な話し合いができて良かった。
- ・もっと認識を広めてほしい。こちらは発信したからいいやではなく、しっかり広まっているか確認する必要があると思う。(鈴木委員)
- ・地域に配られる学校だよりやホームページで情報発信をしているが、ホームページは学校関係者しかあまり見ないと思う。協議会の取り組みを積極的に発信していけるとよい。(岡本委員)

- ・QRコードを取り入れていくなど考えるようにしたい。(教頭)
- ・学校の要望があってこちらは動くことができるので、要望をしっかりと教えてほしい。

(3) 令和7年度学校運営の基本方針の説明と承認

- ・校長より来年度の目標、目指す生徒像、生徒育成の指針、本校職員としての心構え、重点課題などが説明された。
- ・基礎学力がついていない子はどのように支援するのか、具体的にどうするのか。(鈴木委員)
- ・基礎・基本を身に着けることを目標として授業を行っている。(主幹教諭)
- ・わかったと腑に落ちるまでやってくれるということですね。(鈴木委員)
- ・タブレットだけで大丈夫か。(中村委員)
- ・ドリルパークというものがあり、生徒それぞれの問題が出てくる。それを活用している。
(主幹教諭)
- ・熟議の後、令和7年度学校運営の基本方針が承認された。